

里山の恵みを堪能し、感動

11月7日 富士通(株)「市原米沢の森」で保全活動

富士通株式会社の社員と社員の家族30名(大人25名、小人5名)が5月に続き、今年2回目となる里山の整備活動に取り組みました。

参加者の感想「手ノコでの下草刈りや刈払機作業、搬出作業を行い、陽が差し込むきれいな森になり感動しました。また、米沢の森を考える会のスタッフから里山の恵みをいただき、お腹一杯堪能しました。」

写真①＝「お昼だよ！いただきます～す！」(左からイノシシのスペアリブバーベキュー、特製イノシシ丼、麦とろご飯と豚汁)



地域興しへ熱い討議

市原で生物多様性ワークショップ

市原市が取り組んでいる生物多様性地域戦略の一環として、市民が参加して生物多様性の課題を考え、あるべき姿を追求しようとするワークショップが1月17日、24日の2日間、同市で行われました。参加した市民は里山活動団体の会員を軸に学生や主婦、市議会議員などを含む40名。総合ファシリテーターである日本自然保護協会・中村俊彦参与、市原市環境管理課職員の指導で熱い討論が行われました。

写真＝KJ法を応用したグループ討議結果発表



《編集後記》 温暖化やエネルギー問題など環境問題の高まりの中で企業のCSR活動も盛んになっています。私たちも地球の多様な生物の一員として、問題意識を共有し、役割を担いたいと思いを改めて強くしています。(K.S)

里山の風にゆられて



テイカカズラ<定家葛>

つる性常緑低木にて有毒植物(人によっては、かぶれる可能性あり)。

和名の「定家葛」は、式子内親王を愛した藤原定家が死後も彼女を忘れられず「葛」に生まれ変わって彼女の墓にしがみついたという伝説がある。6月頃に花を咲かせ、ジャスミンに似た芳香がある。果実は細長い袋実で熟すと縦に裂け目を生じて種子を散布する。種子にはとても長い白い冠毛があり光に輝き風に吹かれて飛び、いのちを繋ぐ。

(写真・文 赤松義雄 H28.1.13 市原市馬立浅間山で)

入会申し込み・問い合わせ先

特定非営利活動法人 ちば里山センター

〒299-0265 千葉県袖ヶ浦市長浦拓2号 580-148 ☎0438-62-8895 FAX0438-62-8896 (平日 9:00~17:00)

E-mail info@chiba-satoyama.net HP <http://www.chiba-satoyama.net>